

10月の衛研検査情報

～概要版～

医動物・種類同定検査結果（令和元年7月～9月）

令和元年度7月～9月に各区福祉保健センターの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行いました。

主な結果 種類同定検査件数は、3件でした。内訳は昆虫類1件（ハチ目）、その他の節足動物2件（クモ目1件、ダニ目1件）でした。

アレルギー物質を含む食品の検査結果（令和元年7月～8月）

令和元年7月及び8月に健康福祉局食品専門監視班がインターネットで購入した食品と市内結婚式場で収去した食品について、卵、乳、小麦の検査を行いました。

主な結果 原材料に卵を使用していないとされる食品16検体、原材料に乳を使用していないとされる食品15検体、原材料に小麦を使用していないとされる食品15検体について、検査を行ったところ、全て陰性（10ppm未満）でした。

夏期食品収去検査結果（令和元年度）

夏期食品等一斉点検は、厚生労働省の通知に基づき、全国一斉に実施されています。本市では令和元年6月3日から8月30日までを夏期取締り期間と定め、一斉点検を行いました。

主な結果 176検体の食品添加物検査を行ったところ、炭酸飲料（清涼飲料水）1検体から表示にない赤色40号（着色料）を検出し、一方で、製品に表示されている青色1号（着色料）が検出されなかったため、製造所を所管する自治体が現在調査をしているところです。また、192検体の細菌検査を行ったところ、ゆでめん・むしめんで細菌数超過・大腸菌群陽性の衛生規範不適合が1検体、洋生菓子で大腸菌群陽性の衛生規範不適合が1検体、弁当・そうざい類で細菌数超過の衛生規範不適合が1検体ありました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 令和元年9月は、大麻（マリファナ）、EBウイルスと伝染性単核症、B群レンサ球菌（GBS）感染症、トキソプラズマ症、手足口病、水痘（水疱瘡）・带状疱疹、リステリア症、疥癬（かいせん）ってなあに？（電子パンフレット）に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は205,190件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。